

同友会活動における

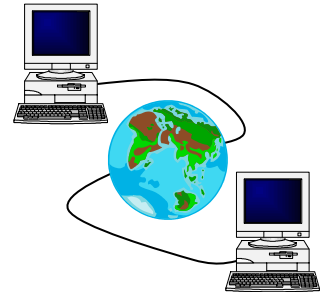
インターネット活用にあたっての考え方

中小企業家同友会全国協議会

2007.11.01

- ・ インターネットの社会的役割を考えながら、会活動の発展のために活用しましょう。

インターネットは、多様な情報をすばやく入手し、また発信するために不可欠なコミュニケーション手段として定着しています。これは中小企業家同友会をより広く知らせ、交流を深め、会活動を発展させるための重要な媒体です。インターネットの社会的役割を考えながら、次々と生まれてくる新しい技術を同友会としても有効にかつ慎重に活用していくことが望まれています。



- ・ 同友会理念を会内外へ知らせるために活用しましょう。



中小企業家同友会のホームページなどは、中小企業家の英知を集めてつくられ、歴史的に検証されてきた同友会理念・活動を、広く内外に知らせるために開設するものです。

- ・ 情報発信にあたっては、管理・運用の責任を明確にしておきましょう。

「中小企業家同友会」という名称を使うホームページや SNS コミュニティーなどについては、各同友会組織の役員会の承認を得るものとしましょう。また、その運営にあたっては、日本経済の担い手となる中小企業家の集団として、常に自らの学びを深め、その成果を広範な人々に知らせるものとなるよう、各同友会組織で責任を持ちましょう。

運営の規範・尺度は同友会理念です。運営する側は常に同友会運動の実践を通じてその理解を深めるよう努力しましょう。



「同友会」のホームページは、組織の責任を明確に

- ・ 全国のネットワークも意識して、適宜更新し相互リンクなどで連携しましょう。



ホームページなどでの発信にあたっては各同友会組織の実情に合わせて内容を適宜更新し、同友会組織相互の発展をめざすため、新たな技術を使うなかで相互に連携し、広く社会に真の同友会の姿を知らせるものとなるように努めましょう。

会員相互の交流を深めるために開設されるものについては、常に会と会員、会員間相互の信頼を高められる内容となるように努力しましょう。

- ・ 著作権やプライバシーを尊重しましょう。

インターネットの世界も、著作権に十分配慮し、個人情報などの取り扱いの際には法令を遵守しましょう。また、インターネット上のモラルや社会的規範も最大限尊重し、同友会運動の社会的評価を高めるものとなるように努めましょう。



著作権やプライバシーを大切に

- ・ ウイルス対策など情報セキュリティーに配慮しましょう。

ウイルスなど悪意のあるソフトウェアが会内に蔓延することで、会員企業に大きな打撃を与える事態が発生しています。ウイルスなどが会内に拡散しない仕組みをつくるとともに、不正なアクセスによるデータ破壊・漏洩等を防ぐための措置をとるなど、セキュリティー対策が不可欠です。